

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2024
11
vol.323

第40回福島県ホルスタイン共進会開催！ 「ユニオンデール オーサム エクスポート」号 (株)T・ユニオンデールィ所有 グランドチャンピオン 連覇!!



TOPICS

- ・令和6年度組合員支援対策について ②～③
- ・も～も～スクール開催について ④

令和6年度組合員支援対策

コロナ禍や、ロシアのウクライナ侵攻等により、輸入粗飼料価格は一時過去最高水準に達しました。現地価格は軟化するも歴史的な円安により、価格は高止まりの様相を呈しています。国・県・市町村等の補填・支援についても長期化に伴い減額下にあり、実質的に酪農経営を圧迫している状況です。組合員においても独自の対策により、使用草種・グレードの見直し、国産粗飼料への切替えが行われているものの、生産性に不安がある事も事実であることから、新穀流通時期に併せ、良質粗飼料利用の負担軽減を目的として、本事業を緊急的に実施することになりました。

1. 事業名 「令和6年度輸入粗飼料価格高騰長期化対策支援事業」
2. 財 源 組合員支援対策積立金（飼料高騰に対するための支援助成）
3. 助成額 組合員支援対策積立金およびメーカーの協力助成金
総 額 ： 24,680,000 円
4. 予定数量 ①輸入粗飼料 1,780トン ②FD ミックス 220トン

* 対象品目・助成金額・実施期間・注文方法等、詳細は次ページをご覧ください。

～参考資料～



輸入粗飼料価格高騰の 長期化支援対策について

本組合の令和6年度組合員支援対策として、飼料価格高騰に対するための支援助成が決定されました。

組合員が安心して酪農を続けていく一助として、良質粗飼料利用の負担軽減を目的に下記の内容にて対策を実施しますので、是非ご利用ください。

内 容

期間内の組合供給数量に対して助成を行います。

①対象品目：チモシー（US産・カナダ産）、ルーサンベール
オートヘイ、クレイングラス

※組合が供給を行っているプレミアムグレード品に限ります。

②助成金額：輸入粗飼料 **14,300円/トン(税込)**
エフディーTMR1 **7,700円/トン(税込)**
エフディーミックス2 **7,700円/トン(税込)**

※金額は協力メーカーの支援を含みます。

③対象期間：令和6年12月1日～令和7年1月31日まで

※対象は期間中の納品分までとなります。

④コンテナ注文：令和6年11月中に期間内での注文を頂く事。

※海運情勢の関係で、急な手配が非常に困難なため。

組合員の皆様にもこれらの状況をご理解ご協力頂き、早め早めの予定・ご注文を賜りたく、お願い申し上げます。



福島県酪農業協同組合



福島県乳牛改良推進協議会主催

第40回 福島県ホルスタイン共進会開催！ 24頭が出品される！！

福島県乳牛改良推進協議会（会長 岩谷金良）主催による第40回福島県ホルスタイン共進会（農林水産祭参加事業）が、10月19日(土)に本宮市の福島県家畜市場において開催されました。また、共進会開会式では、令和6年度優良酪農家選奨者を発表し、代表者を表彰しました。

当日は、雨が心配されましたが、晴天となり、天気にも恵まれ、日頃から手入れの行き届いた二十四頭の愛牛が県内各地より出品されました。審査委員長には福島県農業総合センター畜産研究所 所長 山本みどり 氏、審査委員には一般社団法人日本ホルスタイン登録協会 審査課長 高橋貞光 氏を迎え、未經産三部門、経産三部門の計六部門に分かれ審査が行われました。

各部厳正な審査の結果、見事グランドチャンピオンの栄冠には双葉郡浪江町の(株)T・ユニオンデリー 所有の「ユニオンデール オーサム エクスポート」号が輝き、昨年の県共進会に続き、同じ牛が2度目の農林水産大臣賞を獲得、リザーブグランドチャンピオンには双葉郡浪江町の(株)T・ユニオンデリー 所有の「ユニオンデール チーフ エチユバリア」号が選ばれ農林水産省畜産局長賞を獲得、準リザーブチャンピオンには岩瀬郡鏡石町の目黒啓太さん 所有の「エムブラック シド ロンペン」号が選ばれ農林水産省東北農政局長賞を獲得しました。

今大会は、40回という節目の大会であり、様々な催しを行いました。

昼食時に無料配布したミルク豚汁は、うつくしま福島mother'sクラブ e-ENにご協力いただき、200食を調理いただきました。そのほか、会場内で過去名誉牛の写真展示を行ったり、来場の方がどなたでも参加できる順位予想投票を第1部と第4部において実施し、正解者の方には粗品をプレゼントしました。また、牛の引き方が上手な人を決めるリードマンコンテストの部門を新たに設け、高校生や酪農後継者4名が参加し、ベストリードマンには、菅野泰夢さん（後継者）、セカンドリードマンには、小川愛莉さん（福島県立岩瀬農業高等学校）が選ばれました。Jサイア娘牛優秀牛表彰では、未經産牛2頭、経産牛1頭が対象牛であり、未經産牛の部で、西白河郡西郷村の小沢正さん 所有の「ウエストドリーム コンシエルジュ スリーナイン」が選ばれました。

末筆になりますが、本共進会開催につきまして、福島県をはじめ関係団体、各業者の皆様からのご後援やご協賛を賜りました。まだまだ厳しい酪農情勢ではありますが、出品者・関係者の皆様のご協力のもと、無事に開催でき、心より感謝を申し上げます。

(M・M)



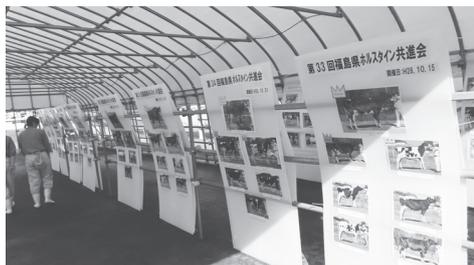
審査風景



審査委員長・審査委員



デイリークイーン



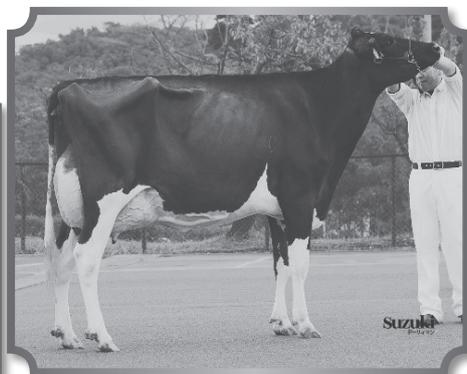
過去名誉牛の写真展示



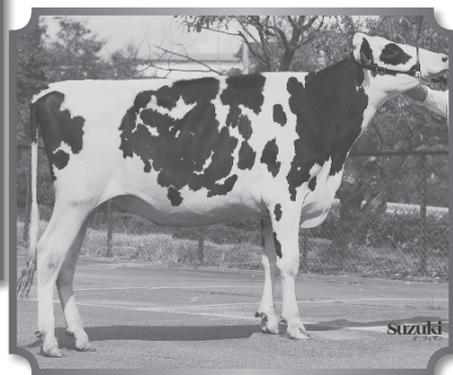
リードマンコンテスト



ユニオンデール チーフ
エチユバリア 号
R4.6.10
双葉郡浪江町
所有：(株)T・ユニオンデーリィ



ユニオンデール オーサム
エクスポート 号
R2.2.26
双葉郡浪江町
所有：(株)T・ユニオンデーリィ



エムブラック シド
ロンペン 号
R5.2.17
岩瀬郡鏡石町
所有：目黒 啓太

第40回福島県ホルスタイン共進会 褒賞牛 一覧表

区分	本牛名号	生年月日	市町村	出品者 氏名
農林水産大臣賞 (グランドチャンピオン)	ユニオンデール オーサム エクスポート	R2.2.26	双葉郡浪江町	(株)T・ユニオンデーリィ
農林水産省 畜産局長賞 (リザーブチャンピオン)	ユニオンデール チーフ エチユバリア	R4.6.10	双葉郡浪江町	(株)T・ユニオンデーリィ
農林水産省 東北農政局長賞 (準リザーブチャンピオン)	エムブラック シド ロンペン	R5.2.17	岩瀬郡鏡石町	目黒 啓太

部別	受賞	本牛名号	生年月日	市町村	出品者 氏名	
第1部	優等賞	バンダイデール CF ジヤステイス	R6.1.22	耶麻郡磐梯町	足利 秀忠	
第2部	優等賞	アイデール メリット レネゲード メアリー	R5.7.29	双葉郡川内村	井出 淳	
第3部	優等賞	エムブラック シド ロンペン	R5.2.17	岩瀬郡鏡石町	目黒 啓太	
第4部	優等賞	ユニオンデール チーフ エチユバリア	R4.6.10	双葉郡浪江町	(株)T・ユニオンデーリィ	ベストアダー
第5部	優等賞	サニーヒル ロード マーロン	R3.4.4	石川郡石川町	岩谷 金良	ベストアダー
第6部	優等賞	ユニオンデール オーサム エクスポート	R2.2.26	双葉郡浪江町	(株)T・ユニオンデーリィ	ベストアダー

令和6年度 福島県牛群改良優良酪農家選奨者一覧

1. 牛群検定の部 国の乳用牛群検定事業の実施農家であり、前年度の検定終了成績が基準以上の優良酪農家。
令和5年度牛群検定成績より

安齋 洋志	(県酪 県北)
柏原 忠仁	(JA 福島さくら)
遠藤 直人	(JA Fukushima未来)
岩谷 金良	(県酪 県南)

2. 牛群審査の部 牛群審査成績が優秀な酪農家。
令和5年度牛群審査成績より

20 頭以上	
(株)T・ユニオンデーリイ	(県酪 浜)
岩谷 金良	(県酪 県南)
20 頭未満	
(公財)郡山市観光交流振興公社	(県酪 県中)
足利 秀忠	(県酪 県中)

3. エクセレント獲得牛の部 体格審査で体格得点 90 点以上を新規に獲得した牛の所有者。
令和5年度体格審査成績より

(株)T・ユニオンデーリイ	(県酪 浜)	91 点	サクランド サム エルピナ	6 E
(株)T・ユニオンデーリイ	(県酪 浜)	92 点	T・ユニオン アフター エチユード	5 E
足利 秀忠	(県酪 県中)	92 点	パンダイデル フィーバー アライアンス	4 E
井出 淳	(県酪 浜)	90 点	アイデール エピ ジョーダン	
円谷 勝幸	(県酪 県南)	90 点	サークルバレー ベイリー シルビア	
岩谷 金良	(県酪 県南)	90 点	サニーヒル スモモ ミテイオ	
添田 勉	(県酪 県南)	90 点	TOM カウンテイー ステファアー	
成田 昌弘	(JA 会津よつば)	90 点	フリーファーム ソロソロモン ソロモン	

4. 血統登録多頭申請の部 血統登録申請頭数上位者。
令和5年度血統登録申請頭数より

雪割牧場 有限会社	(県酪 県南)	124 頭
株式会社 フェリスラテ	(県酪 県北)	124 頭
株式会社 佐久間牧場	(JA 福島さくら)	87 頭
ミネロファーム	(県酪 県北)	65 頭
鈴木 明彦	(県酪 県南)	65 頭
円谷 勝幸	(県酪 県南)	49 頭
有限会社 サトーフาร์ม	(県酪 県北)	36 頭
岩谷 金良	(県酪 県南)	26 頭
(株)T・ユニオンデーリイ	(県酪 浜)	26 頭
井出 淳	(県酪 浜)	24 頭

5. 牛群改良の部 エクセレントを獲得した牛で、3代 EX 以上を獲得した所有者。

添田 勉	(県酪 県南)	TOM カウンテイー ステファアー	90 点
		母 TOM フィーバー ファツシヨン	90 点
		祖母 TOM アドベント リー ツルマツ	90 点

6. 会長特別表彰 国内で初となる親子で5回エクセレントを獲得した所有者の表彰。

(株)T・ユニオンデーリイ	(県酪 浜)	母	サクランド サム エルピナ	6 E
		子	T・ユニオン アフター エチユード	5 E

福島県酪農協酪農研究部

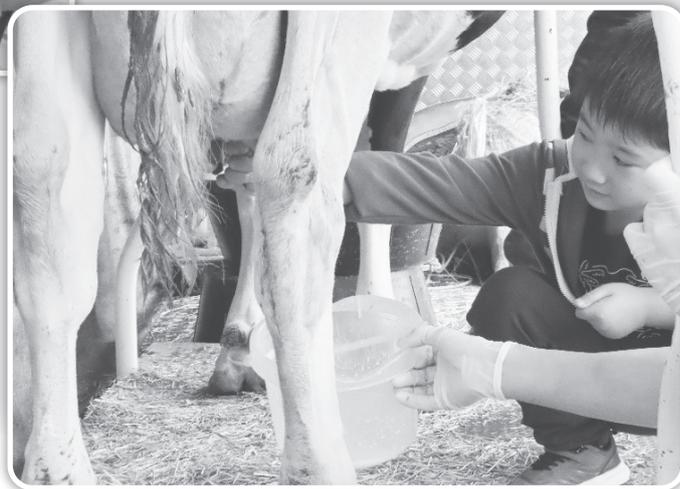
矢吹町立三神小学校にても～も～スクールを開催しました！

10月23日(水)に矢吹町の三神小学校にても～も～スクールを開催しました。今回は1・2年生 34名の子供たちにむけて、酪農の話・バター作り体験・搾乳体験・子牛ふれあい体験を行いました。

子供たちは、酪農の話にも興味をもち、聞き入っていました。バター作りでは、グループの中で交代しながら材料を入れたペットボトルを振り、できたバターをみんなで試食しました。自分たちで作ったバターはおいしかったようで、ほとんどの子が完食していました。子牛のふれあい体験と搾乳体験では多くの子が牛に触れるのが初めてだったようで最初は怖がっている子もいましたが、ふれあい後は「かわかった」「温かかった」との声が多く、みんな笑顔で体験を終えました。また、乳搾り体験を通じて、もっとたくさん牛乳を飲んで背を高くしたいとの感想を口にする子もいました。先生方や保護者の方々からも子供たちにとって良い経験になったと好評でした。

今回は県南地域の会員・県南やまびこ会の会員の方々にご協力いただき開催することができました。ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。

今年度も～も～スクールは11月6日(水)に福島市の清水幼稚園、11月14日(木)に郡山市の小山田小学校の2カ所でも開催を予定しております。引き続き来年度も開催を検討しており、福島県酪農協のホームページにて、次年度の～も～スクールの募集を12月以降に行う予定です。開催したいとの要望がありましたら、酪農研究部事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。(A・S)



福島県牛乳普及協会より

第45回 牛乳・乳製品利用料理コンクール 開催

今年度も、県内の高校・専門学校・大学から447作品の応募があり、9月26日(木)に県酪農協にて書類審査が行われ、書類審査にて選ばれた7名による実技審査が10月24日(木)福島市松川町の福島県学校給食会にて開催されました。

(一社)福島県調理師会会長 川副憲雄氏を審査委員長に、(公社)福島県栄養士会名誉会長 鈴木秀子氏、福島県農林水産部畜産課課長 横田真良氏、福島県牛乳普及協会会長 紺野宏が審査員を務めました。

出場者は緊張しながらも一生懸命に料理の腕を振るい、地元や旬の食材と牛乳・乳製品を使ったアイデアで個性豊かな作品でした。

今年度の最優秀賞には、福島県立あさか開成高等学校 加茂心結さんの「福島 味噌ミルク春巻き」が選ばれました。加茂さんは、昨年度に続き2年連続の最優秀賞受賞でした。

川副審査委員長からは「全体的にインパクトが薄い印象だったが、その中で加茂さんの味噌ミルク春巻きは、味もしっかりしていて見た目も良かった。」と講評をいただきました。また、鈴木審査員は、「調理の向こうには必ず食べる人がいる。食べた人が、どのような感想を持つのか想像しながら調理してほしい。」とおっしゃっていました。

今年度も、県大会を無事に終えることができましたこと、関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。

12月には、料理コンクールの作品を載せた「レシピ集」を作成予定です。

ぜひご覧いただき、作ってみてください！！

また、今年度の作品については順次、県酪だよりでご紹介していきます。

(Y・M)



最優秀賞：加茂 心結さん
あさか開成高等学校
「福島 味噌ミルク春巻き」



調理風景 (川副審査委員長と加茂さん)



集合写真

第18回おおたまうまいもの祭りに出店しました！

10月20日(日)、大玉村ふれあい広場において、「第18回おおたまうまいものまつり」が開催されました。

大玉村畜産団体連絡協議会のブースにて、牛乳・乳製品と牛肉の販売を行いました。

去年は朝から冷たい雨が降っていましたが、今年は天気にも恵まれ、たくさんのお客様が来場されました。

購入していただいた方へグッズの配布も行い、牛乳・乳製品の消費拡大と酪農理解醸成活動も行いました。引き続き、市町村のイベントなどで活動を行っていきます。

ご協力いただきました地域の農家さん、スタッフの皆様、ありがとうございました。(S・T)



福島県酪女性部やまびこ会スキルアップ事業

『ヨーグルトマニア 向井智香さんによる講演会』 開催について

福島県酪女性部やまびこ会では、今年度より名称を牛乳価値向上事業からスキルアップ事業に変更し、講演会を開催します。SNSで商品レビューを発信されたり、デーリィマンで毎号『ミルクの四季』の料理レシピを紹介する等、ヨーグルトマニアとして活躍している向井智香さんをお招きし、ヨーグルトについて学び、色々なヨーグルトを試食する講演会となっております。

会員の皆様のたくさんのご参加、お待ちしております。

日時

令和6年12月10日(火) 11:00～
(昼食をご用意します)

場所

福島県酪農業協同組合 本所 1階会議室



講師：ヨーグルトマニア 向井 智香さん

全酪連の小窓 11月号 ~エネルギー補給による繁殖改善~



今年は昨年とは異なり秋を感じられる気候でした。夏の暑さ疲れも徐々に取れ、冬に向けた対策が必要になってくるかと思えます。繁殖面では夏場の成績不良をここで挽回していきたいところです。今月は冬場で消費されやすいエネルギーに注目した内容です。

繁殖問題が与える影響

牛群の平均分娩間隔が長くなると、平均搾乳日数が長くなります。その結果、搾乳牛1頭当たり乳量/日が低くなり経済的損失が大きくなります。

1日の乳量低下量はおおよそ0.09kgといわれています。搾乳日数が1日延びることにより、牛群として $0.09\text{kg} \times \text{乳牛頭数} \times \text{乳価} \times 365$ 日の潜在的所得の損失に繋がります。

例えば**40頭で乳価130円**を上記の式に当てはめると、**搾乳日数1日で170,820円の損失**になります。逆に**平均分娩間隔を14ヶ月から13ヶ月に短縮**すると、平均搾乳日数で15日短くなるので $170,820\text{円} \times 15\text{日} = 2,562,300$ の損失を防げることになります。***牛群の平均搾乳日数は、分娩間隔 - 乾乳日数 (60日) ÷ 2で求められます。**分娩間隔が14ヶ月の平均搾乳日数は180日、13ヶ月では165日になります。

分娩直後はエネルギーの要求量が2倍に増加するため、エネルギーバランスが崩れ繁殖まで回せなくなります。その対策として乾乳期から乾物摂取量を向上させていく必要があります。

	高乳量		低乳量		経産牛/体重725Kg		初産牛/体重575Kg		
	2日前	2日後	2日前	2日後	2日前	2日後	2日前	2日後	
TMRのエネルギー濃度(Mcal/Kg)	1.8	1.5							
乾物摂取量(%体重)	3.6	3.2							
乳量(Kg/日)	41.6	32.8							
泌乳ピーク	9週目	7-8週目							
分娩後にエネルギーバランスがプラスになる週	3週目	7週目							
卵胞液中のE2濃度(ng/ml)	2.3	1.6							
					維持	11.2	10.1	9.3	8.5
					妊娠	3.3		2.8	
					成長			1.9	1.7
					乳生産		18.7		14.9
					合計	14.5	28.8	14.0	25.1

(kendrick et al.,1997) * NRCによる(単位はMcal)。 * 乳量は経産牛で25Kg、初産牛で20Kg、乳脂肪率4%。(Courtesy of J.K.Drackley)

乳量を制限すると、エネルギーバランスの回復が遅くなる

分娩後は乳生産によるエネルギー要求量が増え、分娩前に比べ2倍必要になる

乾物摂取量を上げるために、切断長を短くする・消化性の良い番手や草種に置き換えるなどの方法がお勧めになります。その他の方法として、バイパス油脂製品の添加も一つの方法として挙げられます。

飼料のエネルギー濃度を高める目的で給与されるバイパス油脂製品は、脂肪酸源として主にパーム油が利用され、生産効率を高め、第一胃での発酵に悪影響を与えないようにバイパス化された製品です。製品によって脂肪酸組成が異なるため、効果の現れ方が異なります。

バイパス油脂製品の特長

バイパス油脂製品は脂肪酸カルシウム塩と水素添加脂肪酸の2種類に分けられます。この2種類はバイパス方法が異なります。脂肪酸カルシウム塩は脂肪酸とカルシウムを結合させることで中性またはアルカリ性環境下では結合状態を維持し、酸性環境下で分離するという性質を利用し弱酸性になる第四胃以降で分離・分解されます。水素添加脂肪酸は水素添加により脂肪酸が飽和化され、脂肪融点を高めることで第一胃での分解を防いでいます。

バイパス油脂の脂肪酸組成で主に扱われる5種類の効果になります。

- **パルミチン酸 (C16)** 乳脂肪増加
- **ステアリン酸 (C18)** 嗜好性改善
- **オレイン酸 (C18:1)** 乳量増加・BCS回復・他脂肪酸の消化吸収サポート
- **リノール酸 (C18:2)** 卵胞発育・子宮回復増進・排卵誘発
- **リノレン酸 (C18:3)** 妊娠状態の維持・受精卵成長

↓↓↓全酪連で取り扱っているバイパス油脂製品はこちらです↓↓↓

ベルガファット100

100%天然パーム油を原料とした粉末の脂肪酸製品で、パルミチン酸を80%以上含んでいるため、主に夏場の乳成分の改善が期待できます。
給与量の目安として、1頭当たり100～500g/日となります。

マグナパック

パーム油を原料とした脂肪酸カルシウム製品で、パルミチン酸とオレイン酸を主に含んでいるため、高泌乳持続による乳期全体の乳量アップと過度な体脂肪動員を防ぐことで繁殖成績の改善が期待できます。
給与量の目安として、分娩後100～200日の泌乳牛に対して、1頭当たり50g/日から給与開始し、2週間かけて300～500g/日にもっていきます。

バイパスメイトL

大豆油・菜種油を原料とした脂肪酸カルシウム製品で、オレイン酸とリノール酸を主に含んでおり、繁殖成績の向上と平均乳量の増加や受胎率の向上が期待できます。
給与量の目安として、未経産牛では人工授精予定日の2週間前から実施後3～6週間で1頭当たり100～200g/日、経産牛では分娩1週間前から1頭当たり50g/日から給与開始し、人工授精実施後3～6週間まで100～150g/日にもっていきます。

給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.239



周産期疾病を考える① 低カルシウム血症（乳熱）

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255



「カルシウム」はコップ1杯（200mL）の牛乳に約**227mg**と豊富に含まれており、乳生産をする乳牛にとっては欠かせないミネラルであることは、皆さんよくご存じかと思います。今回は分娩後の周産期疾病の一つである低カルシウム血症、いわゆる乳熱について、簡単に触れてみたいと思います。

乳熱とは？（産褥麻痺）

乳熱とは、乳牛の分娩と泌乳の開始に伴って発する代謝性疾患であり、低Ca血症を特徴とする周産期疾病になります。

通常は分娩から72時間以内に発症し、起立不能、筋肉の弛緩、食欲不振、意識不明様々な症状が見られます。

乳熱には、識別できる3つの段階があります。

第1段階では、牛はまだ立ってられるが、過敏や興奮した徴候を示す…Ca療法を開始しないと、牛は第2段階に入ります。

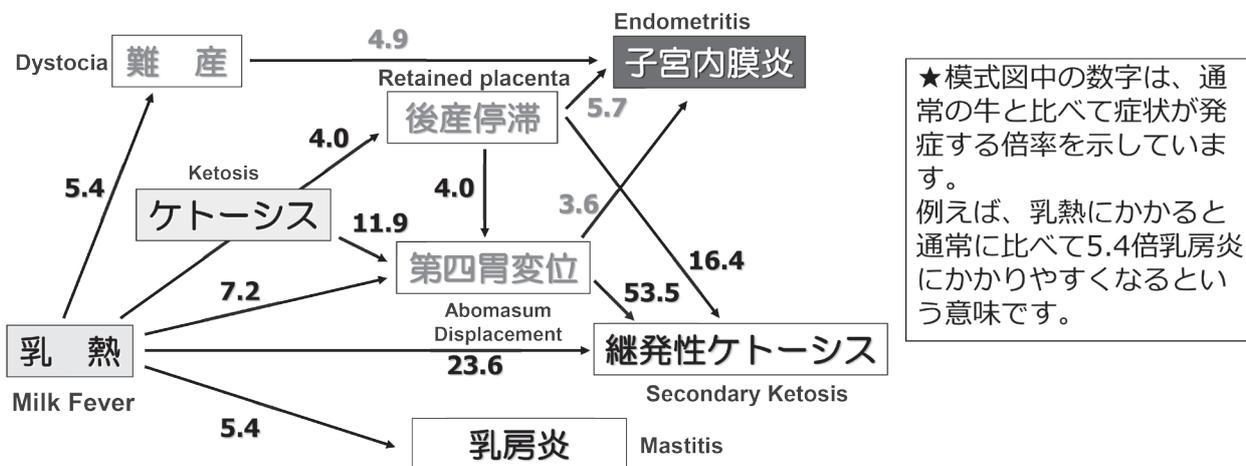
第2段階に突進した牛はもはや立てられなくなり、沈うつ状態、食欲不振、低体温などが認められます。筋肉（平滑筋）の麻痺により第一胃鼓脹や失禁などの排便異常に繋がります。応急処置を実施されなければ、第3ステージに症状が進みます。

第3段階の牛は意識を失い、昏睡状態に陥ります。この段階の牛は数時間しか生存できません。



なぜ低Ca血症／乳熱の予防は大事なのか？

[Ref : Curtis, et al. 1983酪農大小岩教授の図]



乳熱から回復しても様々な疾病に陥る確率は一般乳牛より非常に高くなることが報告によってよくわかっています。

これらの疾病によって、酪農家に大きな経済的ダメージをもたらしています。

乳熱は、繁殖や乳生産の低下の始まりと言え、その予防は非常に重要となります。

乳熱予防のための栄養管理の1つ～カリウム摂取量の低減

わが国では土壌中への糞尿の大量還元などによって牧草中のカリウム含量が3%以上になることも多く、泌乳牛のカリウム要求量(0.8%)をはるかに超え、カリウム過剰摂取になりやすいです。

過剰摂取されたカリウムは消化管で溶解、吸収されやすく、乳牛体内でカルシウムやマグネシウムの吸収や利用を阻害することなどが分かっており、低マグネシウム血症からの乳熱発生要因としてカリウム過剰摂取がクローズアップされています。

しかし、どうしても乾乳牛に高カリウム牧草を給与しなければならない事も多くあります。低マグネシウム血症の原因はカリウムの過剰摂取ばかりではなく飼料中のマグネシウム不足も挙げられます。また、カリウムがマグネシウムの吸収、利用阻害する分を余分に酸化マグネシウムを乾乳中に給与する予防法もあります。気になる方は、まずは、乾乳牛に給与している牧草のカリウム濃度を測定してみましょう。

また、これまで通り、2産以上の経産牛には分娩前後に、カルシウム剤の経口投与や、カルシウムの点滴をすることにより周産期疾病の予防に努めてください。 O

令和6年度9月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、133円29銭4厘で前年より28銭5厘下回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg(税抜)の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg(税抜)の値上げとなっております。また、令和5年8月1日からは飲用向け及び発酵乳向け、学乳向けが10円/kg(税抜)の値上げとなっております。さらに、令和5年12月1日取引分から乳製品向けのうち油脂分(バター向け及び生クリーム向け)の生乳取引価格について6円/kg値上げの期中改定となっております。

■東北全体プール乳代金 4,336,405千円 単価131.001円
 ■内 福島県分プール乳代金① 477,846千円 単価131.001円
 プール対象外乳代金② 89,740千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)
 合計乳代金①+② 567,586千円 単価134.572円

項目	令和6年9月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	132円422	132円935	-0円513	111円913
補給金単価	0円671	0円494	0円177	0円730
集送乳調整金単価	0円201	0円150	0円051	0円229
合計	133円294	133円579	-0円285	112円872

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体9月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	24,977	833.0	97.9	70.5	71.0
加工向け	2,020	67.0	143.7	5.7	3.9
学校給食向け	2,304	77.0	94.1	6.5	6.8
発酵乳向け	5,461	182.0	92.0	15.4	16.5
生クリーム向け	493	16.0	96.5	1.4	1.4
チーズ向け	152	5.0	112.2	0.4	0.4
合計	35,406	1,180.0	98.5	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

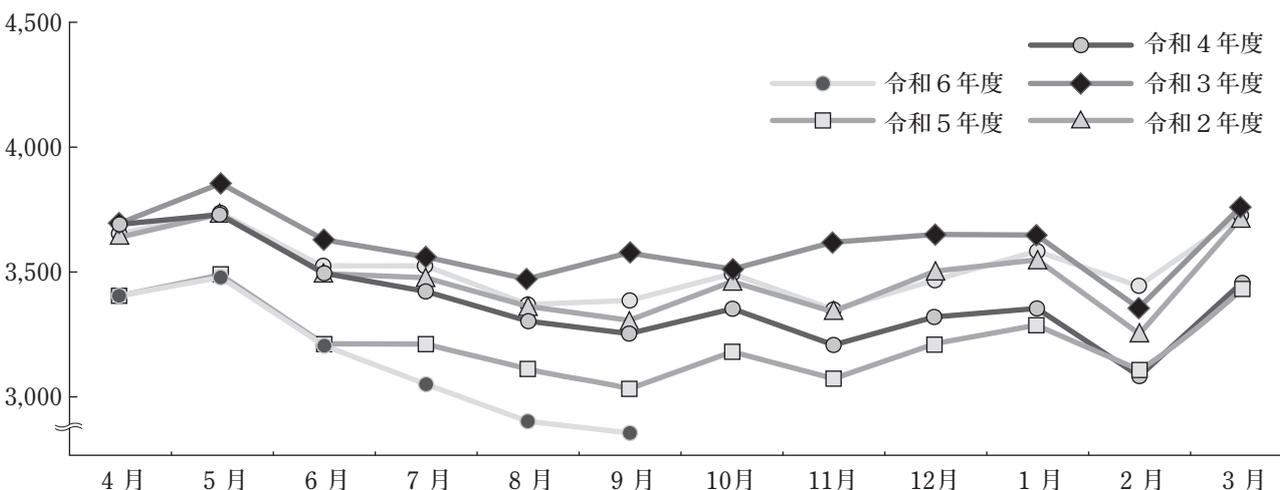
北海道：102.4%、都府県：97.3%

団体名	9月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	2,897	96.6	95.4
全農福島県本部	1,323	44.1	99.0
合計	4,220	140.7	96.5
東北生乳販連	35,406	1,180.2	98.5
全国	535,551	17,851.7	100.3

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206	3,058	2,981	2,897							
前年比%	99.9	99.6	99.7	95.1	95.6	95.4							

単位・トン



令和6年度受託乳量の状況

令和6年9月の受託乳量は、県全体で前年比96.5%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が2,897トン、前年比95.4% (対前年同139トン減)、全農県本部は1,323トンの対前年比99.0%

(対前年同月13トン減)の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比98.5%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比100.3%となりました。

令和6年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが143.7%、チーズ向けが112.2%と上回り、飲用向けが97.9%、学校給食向けが94.1%、醗酵乳向けが92.0%、生クリーム向けが96.5%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和6年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比23銭引き上げの「8円92銭」、集送乳調整金を同3銭引き上げの「2円68銭」、総交付対象数量については、前年度比5万トン減の「325万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調

整金単価を合算すると、前年度比26銭上げの「11円60銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、飼料費と副産物価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均31.1トﾝ（前年比64.5%）で、本組合生産量の32.2%、県全体生産量の22.1%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度	128.759	130.057	132.319	131.084	130.136	133.294							
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和6年9月30日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 23	戸 27	% 85.2%	頭 383	頭 185	頭 172	頭 369	頭 707	頭 1,248	頭 1,816	頭 1,891	% 96.0%	頭 79.0
県 中	44	50	88.0%	200	148	175	365	575	1,115	1,463	1,580	92.6%	33.3
浜	6	7	85.7%	89	43	27	50	109	186	318	333	95.5%	53.0
県 南	30	33	90.9%	434	262	263	524	869	1,656	2,352	2,513	93.6%	78.4
合 計	103	117	88.0%	1,106	638	637	1,308	2,260	4,205	5,949	6,317	94.2%	57.8

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	令和6年 10月	令和6年 11月	令和6年 12月	令和7年 1月	令和7年 2月	令和7年 3月	令和7年 4月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛								
県 北	頭 107	頭 111	頭 103	頭 113	頭 105	頭 100	頭 87	戸 19	kg 29,942	kg 1,576	kg 27.8	kg 24.0
県 中	117	103	113	90	78	100	87	44	22,667	515	24.1	20.3
浜	23	17	17	20	9	18	16	6	4,876	813	30.7	26.2
県 南	216	161	181	133	132	103	123	29	39,162	1,350	28.1	23.6
合 計	463	392	414	356	324	321	313	98	96,647	986	27.1	23.0

第348回 県酪協乳牛市場成績

令和6年10月11日開催

購買者数 15名（うち県外8名）

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	23 (96)	245,000 156,000	197,696 (88)	99 (101)	2,007 (88)
	雄	47 (96)	380,000 68,000	220,021 (79)	102 (101)	2,162 (79)
乳牛	メス	1 (100)	1,000 1,000	1,000 (17)	75 (134)	13 (12)
	雄	34 (65)	52,000 1,000	14,412 (46)	70 (97)	205 (46)
交雑牛	メス	64 (98)	118,000 1,000	61,563 (67)	72 (103)	857 (65)
	雄	86 (100)	129,000 1,000	68,802 (67)	77 (99)	888 (68)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

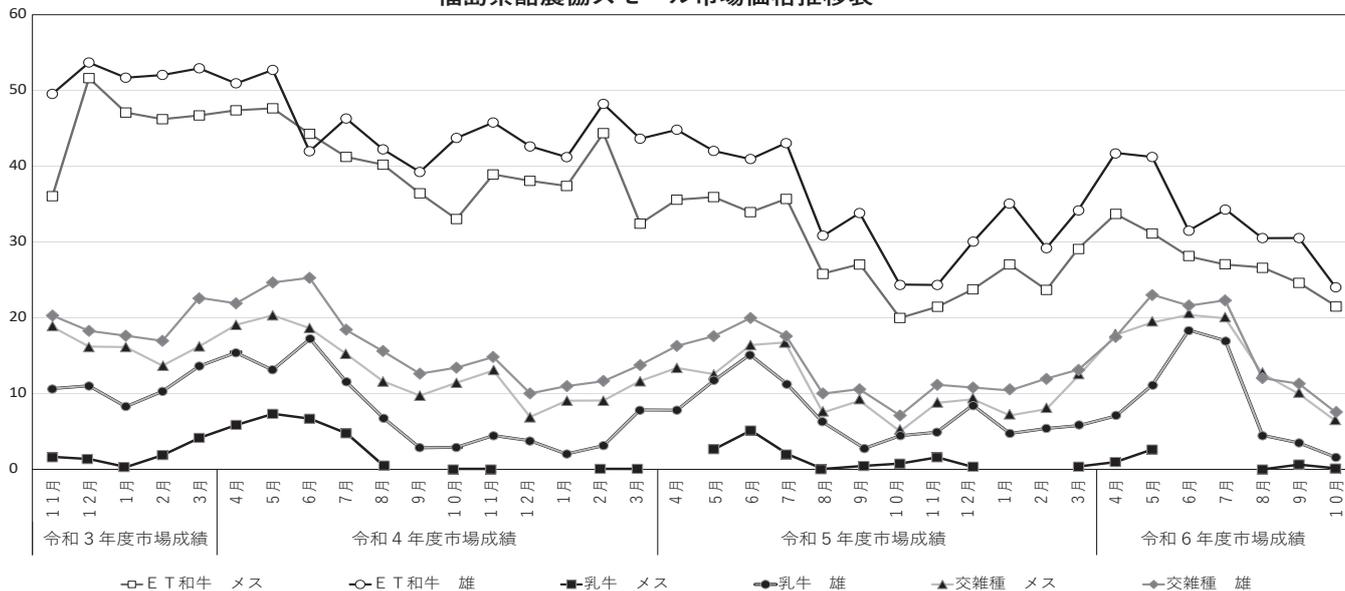
価格帯別分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜種	雌雄	価格帯(万円)																																					
		<14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38													
ET和牛	メス		1	2	1	2	5	7	2	2		1																											
	雄	3		3	3	4	3	7	4	1	5	3	1	1	2	2	1	1			1														1		1		
乳牛	メス	0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24													
	雄	17	7	3	3	3	1																																
交雑牛	メス	0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24													
	雄	4	4	1	9	4	7	8	8	16	14	8	2	1																									

単位：万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組合の動き 10月

10月1日	令和6年度上期棚卸監査	10月20日	第18回おおたまうまいもの祭り
10月2日	南相馬支部総会	10月21日	福島県酪女性部やまびこ会役員会
10月3日	令和6年度全国連再委託販売	10月22日	メンタルヘルス研修会（1回目）
～4日	乳業者現地研修会	10月23日	も～も～スクール（矢吹町立三神小学校）
10月6日	やぶきフロンティア祭り2024	10月24日	牛乳・乳製品利用料理コンクール福島県大会
10月8日	福島県原子力発電所の廃炉に関する安全確保県民会議	10月25日	第7回理事会
10月9日	第2回管理生産委員会	10月28日	福島県酪農青年研究連盟役員・事務局会議
10月10日	全酪連期中監事監査	10月28日	福島県酪農協酪農研究部役員・事務局会議
～11日		10月29日	メンタルヘルス研修会（2回目）
10月11日	乳牛せり市場	10月30日	東日本デイリーショー2024
10月15日	みんなでチャレンジ！環境保全型農業コンテスト2024審査会	～31日	
10月17日	安達支部婦人研修会	10月31日	福島県乳牛改良推進協議会主催 東日本デイリーショー視察研修会
10月19日	第40回福島県ホルスタイン共進会	10月31日	楽寿会総会

理 事 会

第7回 令和6年10月25日

議 案

議案第1号 令和6年度 組員支援対策（案）について

報告事項

- （1） 役員研修視察先の変更について
- （2） 酪王協同乳業郡山工場解体工事及びアスベスト除去工事、機器買い取り業者の決定について
- （3） 今後の日程について

令和6年度異動等辞令交付

◆新採用（令和6年11月1日付）

職 位	氏 名	新 任
正 職 員	梶 友 香	生産部 指導診療所

新入職員のご紹介

復興牧場設立準備室



ほりい このみ
●堀井 好

秋田県金足農業高校出身です。現在は農地集積に係わる特定作業受委託契約書の締結業務をメインに担当しています。

牧場施設が完成し、シャインコーストで働くことを楽しみにしています。

生産部 指導診療所



くぬぎ ゆか
●梶 友香

11月より指導診療所に配属されました梶 友香と申します。

臨床は経験がないのですが、早く一人前になって、福島の酪農の力になれるよう頑張りたいと思います。

福島県牛乳普及協会
令和5年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール
福島県大会入賞レシピ



かぼちゃ豆乳クリームチーズ蒸しパン

福島東稜高等学校
小林 愛実さん



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- ・カボチャ…………… 320g
- ・豆乳……………200ml
- ・牛乳……………200ml
- ・砂糖…………… 120g
- ・米粉…………… 180g
- ・薄力粉…………… 180g
- ・ベーキングパウダー…………… 16g
- ・油…………… 大さじ4
- ・クリームチーズ… 150g

●作り方

- ① 茹でたカボチャをこし器でこす。
- ② こしたカボチャと砂糖と豆乳を加えて混ぜる。
- ③ ボウルに米粉とベーキングパウダーを入れてかたまりをとり②と混ぜ合わせる。
- ④ クリームチーズと茹でたカボチャを7mm角に切り、カップに生地を流しいれ、その中に切ったものを入れる。
- ⑤ 最初は中火で6分、次は強火で5分蒸して完成。



米粉と豆乳を使ってヘルシーに仕上げました。

『特派員 報告』 大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思ひます。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』 投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね)
 - ◎文章だけでも結構です。
 - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
 - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
 - E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
 - F A X : 0243-33-1103